

令和6年度 赤間保育園の職員による保育園の自己評価 【アンケート調査の集計結果】

2025年4月21日(月)

*****<調査の実施概要と回答者の基本属性>*****

調査対象者：赤間保育園 職員 56名

調査実施期間：2025年3月21日(金)～2025年3月31日(月)までの11日間

調査形式：無記名式WEB調査

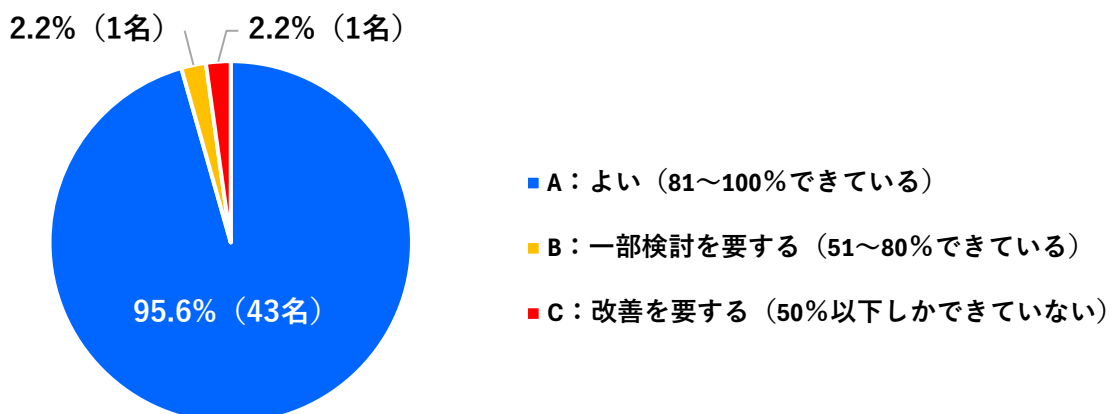
回収数(回収率)：45名(80.4%)

自己評価項目数：32項目

基本属性(勤続年数)：5年以下⇒23名(51.1%)、6年～10年⇒9名(20%)、11年～15年⇒5名(11.1%)、16年～20年⇒4名(8.9%)、21年以上⇒4名(8.9%)

備考(自由記述について)：各質問への回答は「A=よい(81～100%)」「B=一部検討を要する(51～80%できている)」「C=改善を要する(50%以下しかできていない)」又は「D=わからない」の4つの選択肢から選んでもらった。そして、「B=一部検討を要する(51～80%できている)」又は「C=改善を要する(50%以下しかできていない)」と回答した場合に、その理由を任意で記述してもらった。

【1】園の基本理念・保育理念が、入園の葉(しおり)やホームページに記載され、保護者に周知が図られている。

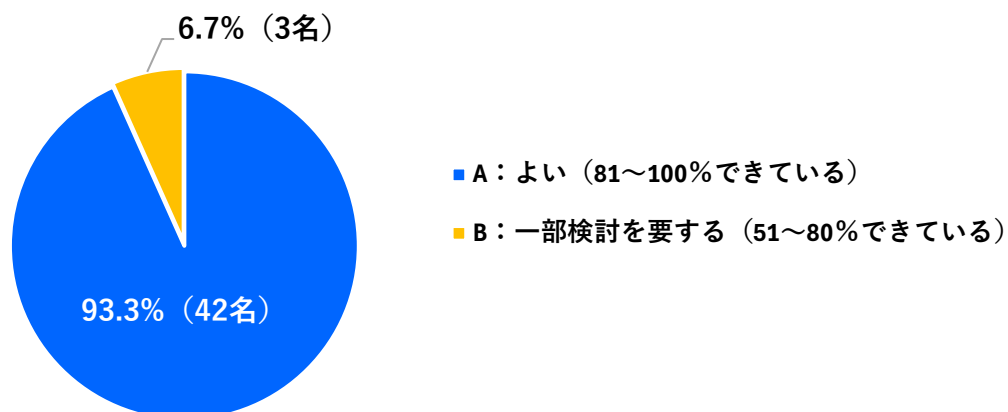


【理由1】しおりを見てない可能性がある。(C回答者)

【理由2】土曜保育のあり方、園の方針と保護者の求めるものが違うなど感じた時。
(B回答者)

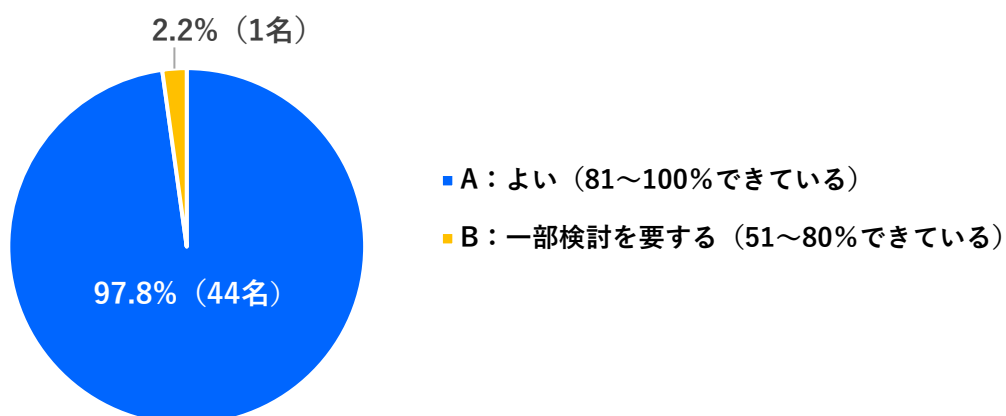
【理由3】気持ちは努力しているつもりであるが、掃除道具を間違えていたり、優先順位が把握出来ていないので、不甲斐ない気持ちになる。(A回答者)

【2】保育方針や各クラス年間目標は、保護者に周知が図られている。



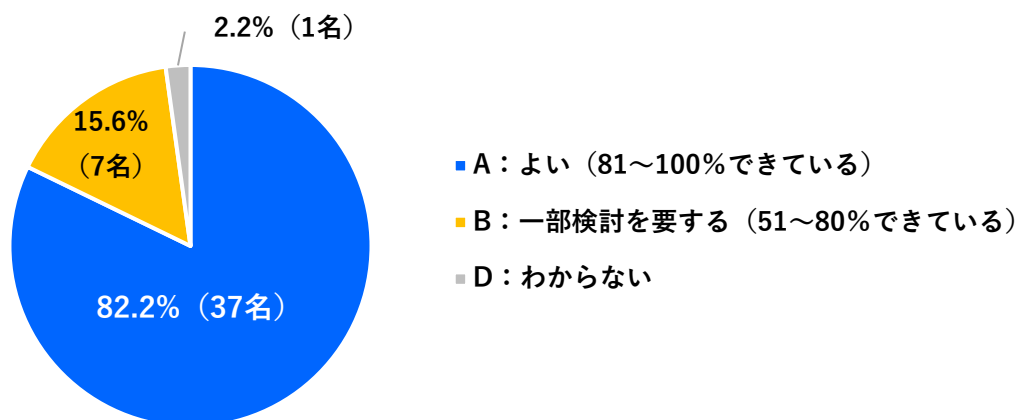
【理由1】 箸の使い方など様々な場面で保護者の考え方が優先される時など。

【3】事業計画（子どもの育ちの目標、行事等）は、入園の栞（しおり）や面談・クラスだより、保育参観、行事のお知らせ等で保護者に伝えられている。



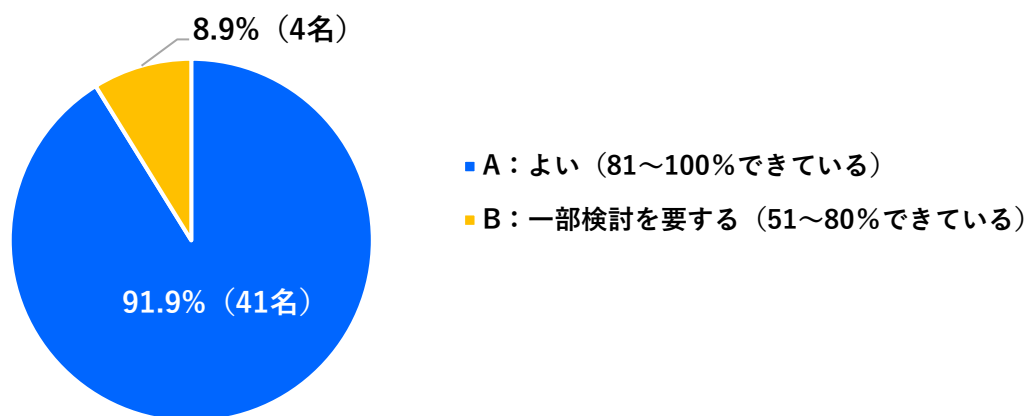
【理由1】 伝えることが遅い時がある。

【4】保育の質の向上に向けた取り組みとして、園内公開保育の実施や保育計画・記録のみならず、日々の活動の様子を、各クラス会議やクラス担任間で共有が図られている。



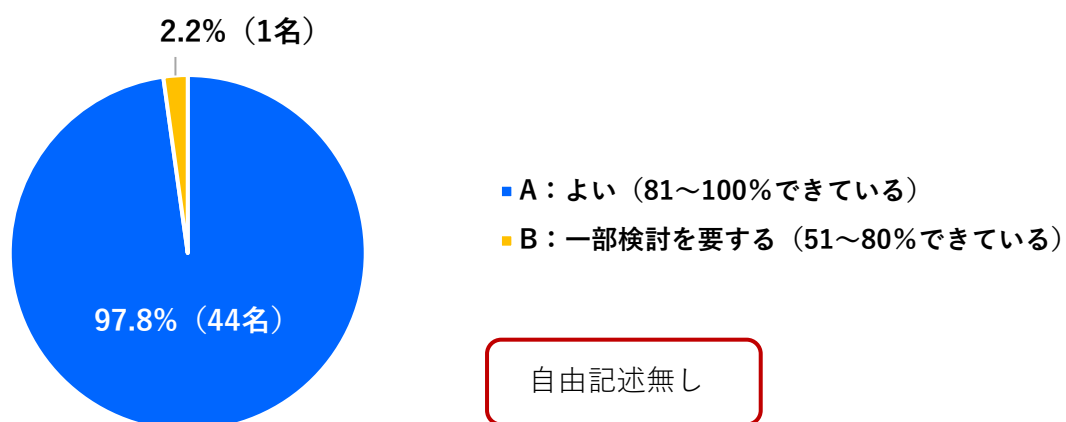
- 【理由1】 保育計画や記録を見たことがない。日々の保育はミーティングで共有できている。
- 【理由2】 クラスミーティングでの共有が不足していた。
- 【理由3】 担任間での共有はしきれていなかった。
- 【理由4】 公開保育をした際、数人の先生が評価するのではなく、職員会議後どうしたらもっと良い保育になるか皆んなで考えてみてはどうかと思う。
- 【理由5】 全ての担任間で共有できているとは、言い難い。

【5】子どもと地域との交流を広げるため、勤労感謝のカレンダー渡しを通して、地域の高齢者施設への訪問やイベント等の催しに積極的に取り組んでいる。

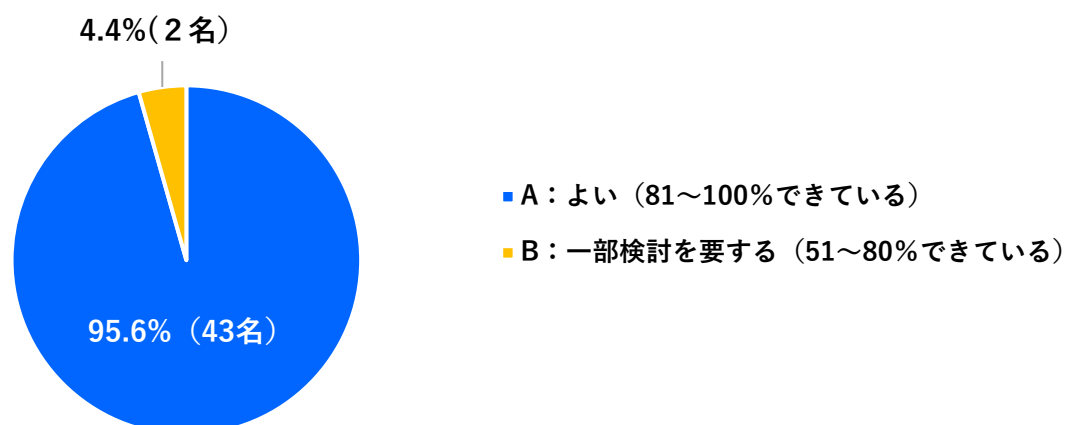


- 【理由1】 いい経験になると思うが回数が多いと思う。
- 【理由2】 子どもたちとの直接的な関わりがほとんどないままカレンダーを渡しに行っている。どのような関わりがあるのかや、渡す日だけでなく他の交流があっても良いのではないか。また、地域イベントについては、日曜日・祝日では中でも良いと感じる。

【6】子どもを尊重した保育について共通理解をもつために、研修や人権擁護チェック等の取り組みを行っている。

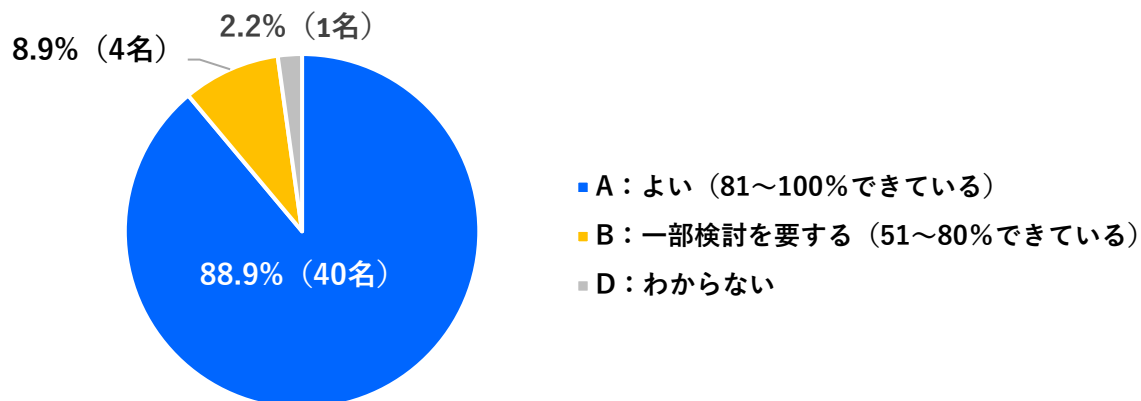


【7】子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。



- 【理由1】全職員が意識しているとは思えない。
【理由2】人によって理解の差があり、過度な配慮により目的が見失われていたり、不十分であったりするため。

【8】利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を、見学を通してまた入園の葉（しおり）の配布や赤間福祉会ホームページに掲載していること等の説明を通して、積極的に情報発信に取り組んでいる。

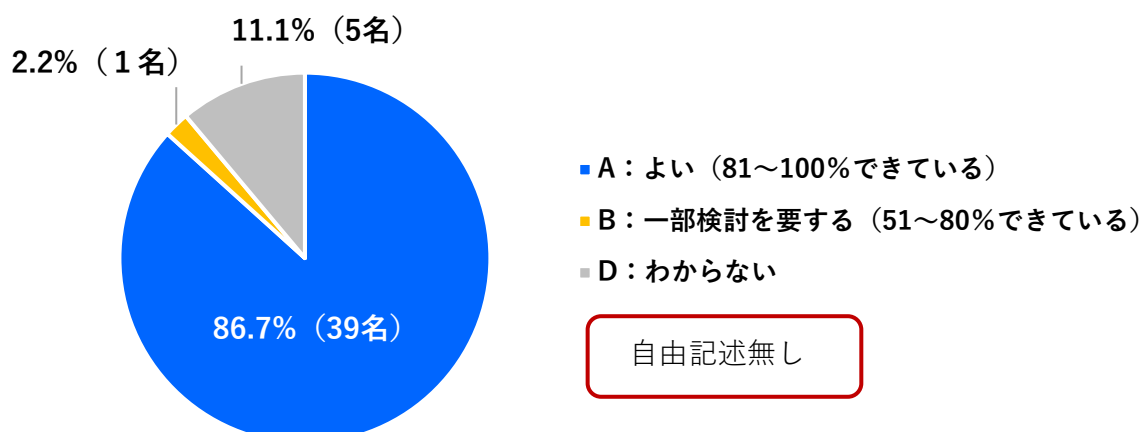


【理由1】説明が長いため、もっと読みやすく聞きやすく、頭に入ってくるようにした方が良い（A回答者）。

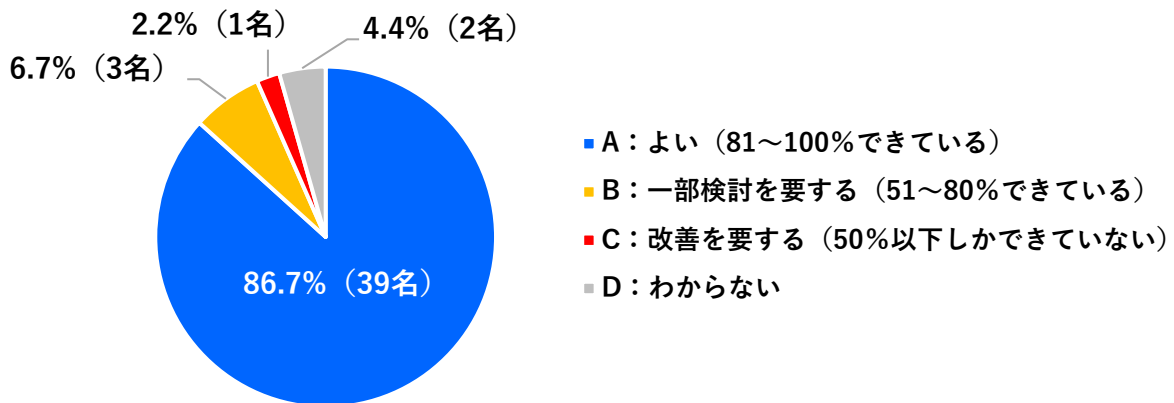
【理由2】情報発信はできていると思うが、実際には、決まり事があやふやになっていると感じる。

【理由3】ホームページの更新を定期的に行うことができなかった。

【9】苦情解決の仕組みや相談受付体制が整えられ、第三者委員会開催後は年度ごとに公表されている。

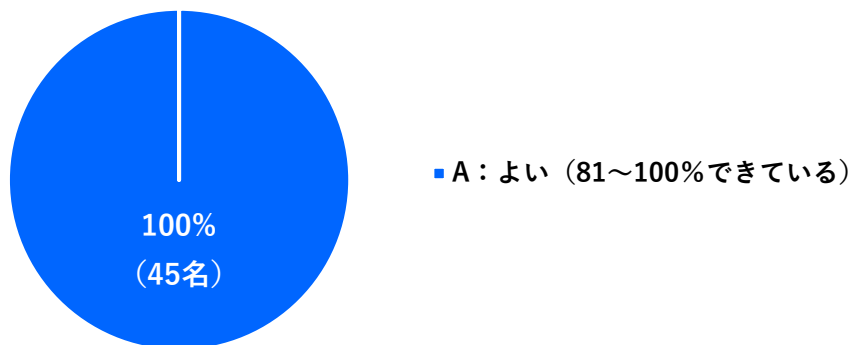


【10】安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が整備されている。

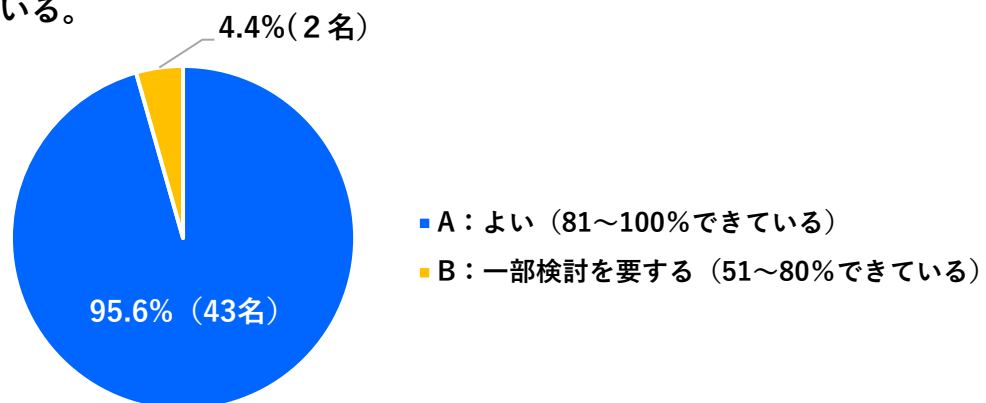


【理由1】子どもの安全のために、大胆な保育ができなくなってきたように思う。
(B回答者)

【11】感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための取り組みを組織的に行っている。

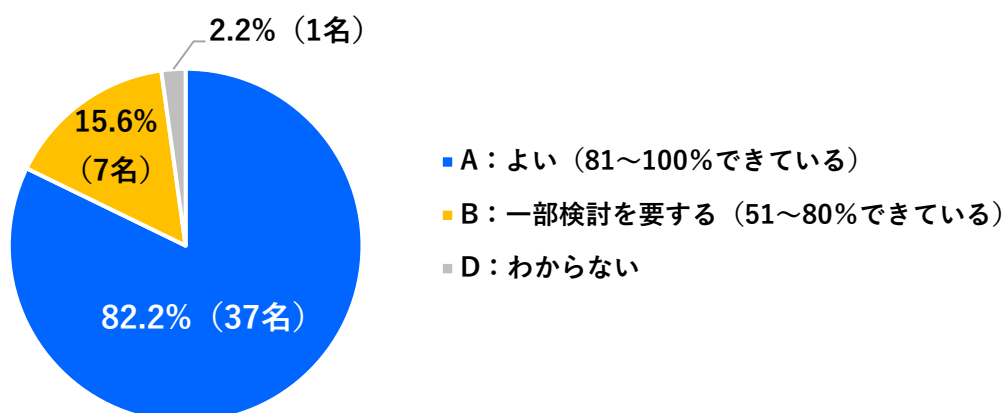


【12】災害時における子どもの安全確保のための取り組みを組織的に行っている。



【理由1】地震の時に避難シューズを履く時間はないと感じる。3から5歳児は日常でも椅子で足をぶついたり、物を落としたりと事故が起きている。通常時の安全確保のために室内シューズを履き、非常時にはそのまま避難できるようにする方法もあると思う。

【13】子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、毎日のクラスミーティングや伝達表等を通して職員間で共有化されている。



【理由1】行われているが、時間を取ることが難しい。(A回答者)

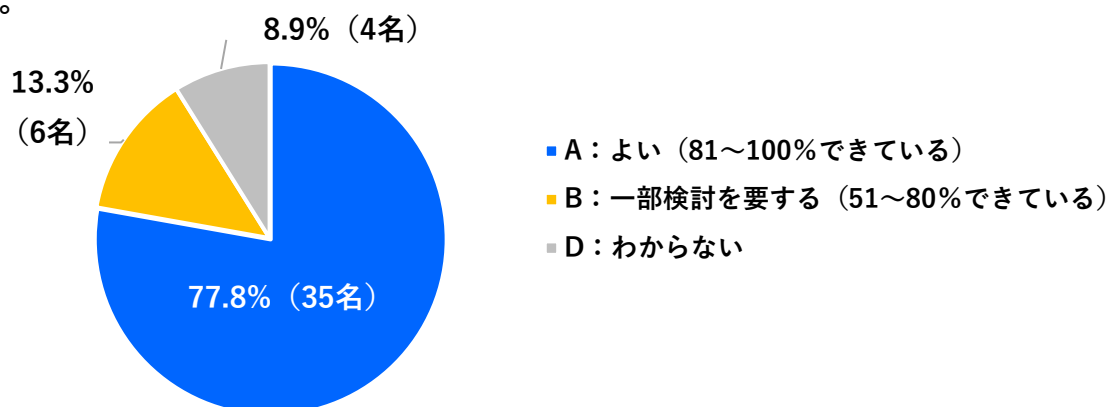
【理由2】共有出来てないことが多い。

【理由3】クラスによって、ミーティングがきちんと行われていないこともあった。

【理由4】全てを共有しきれていない

【理由5】仕組みはできているが、会議や行事等が多く、クラスミーティングが十分に実施できない時がある。

【14】保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じた全体計画を全職員で共有している。



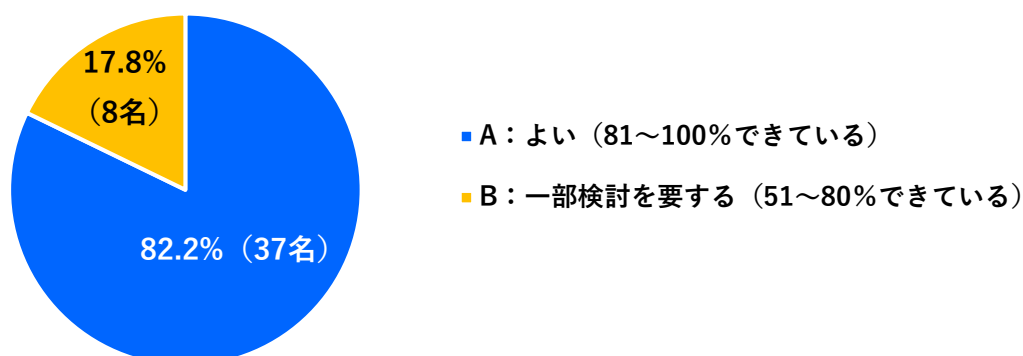
【理由1】職員によって責任の感じ方に差がある。(A回答者)

【理由2】家庭との関わりがほぼないためわからない。

【理由3】「大きくて温かい家」という基本理念に対して、どのような雰囲気適切であるか、改めて考える必要があると感じる。

【理由4】担任以外が、保護者と対応した際など情報が回ってこない事が多い。

【15】生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことができる環境づくりに心掛けている。



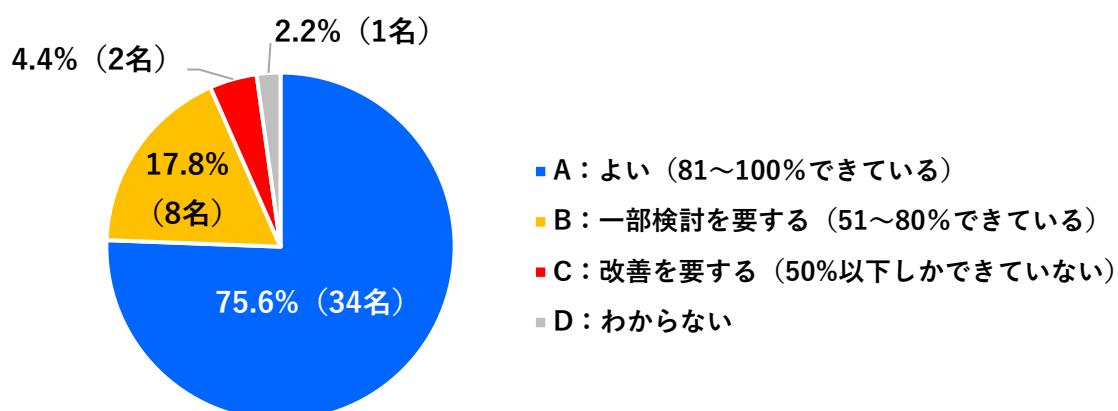
【理由1】なるべく少人数で保育を行うことや、棚の上の整頓を行うことなど、改善しなければならない項目を職員全員で意識して保育を行わなければいけないと思う。

【理由2】保育室の整理整頓がきちんと行われていないクラスもあった。

【理由3】戸外遊びや散歩など、子ども達が伸び伸びと過ごせる時間をもう少し確保しやすくできると良いと考える。

【理由4】子どもの気持ちを落ち着ける場所があると良い。狭くてもいいので。

【16】子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。



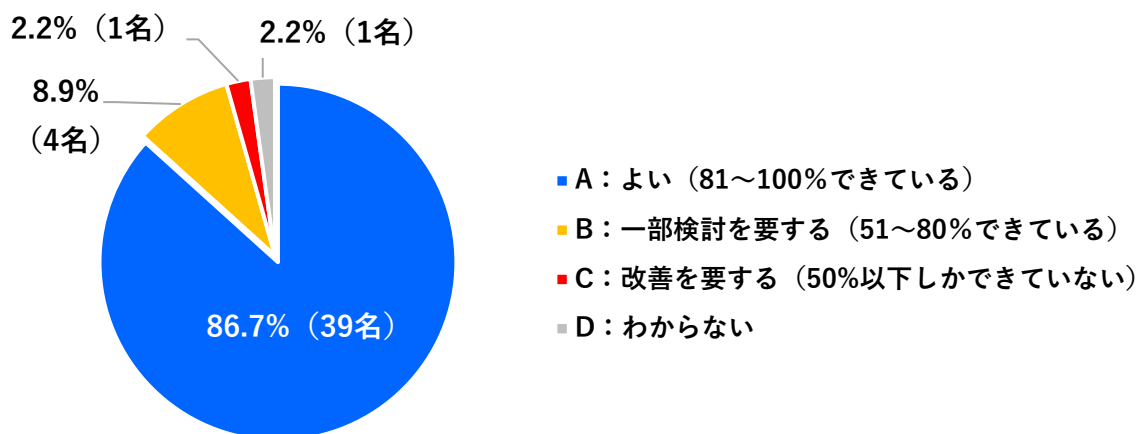
【理由1】玩具の置き方を考えたり、与えるだけの保育を見直したりするようにしたい。(B回答者)

【理由2】保育者自身の保育力向上が課題である。(B回答者)

【理由3】与えられた玩具でしか遊べないという環境は果たして主体的なのかと思うことがある。(C回答者)

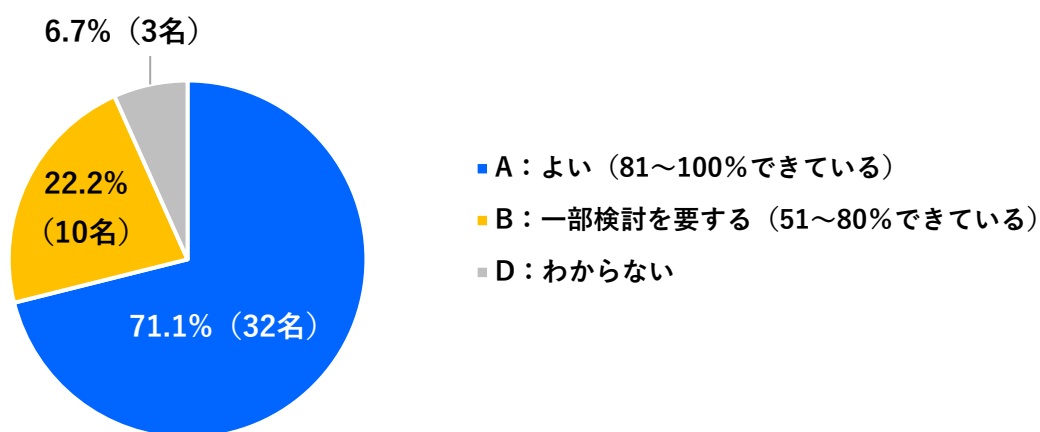
【理由4】3.4.5歳児の保育室を自由に行き来し、やりたい遊びを主体的に選択できる仕組みや連携がもっとできたら良いと思う。(B回答者)

【17】乳児保育（0歳児）、3歳未満児（1.2歳児）、3歳以上児において、養護と教育が一体的に展開されるよう、またその年齢に応じた環境への取り組みや、子どもの主体性を育む保育の内容や方法に配慮している。



【理由1】子どもたちの主体性は出せていないと思う。(B回答者)

【18】配慮の必要な子どもが安心して生活できる関わりや、保育の内容や方法に配慮している。



【理由1】加配保育士を入れるなどの措置が必要だと思う。

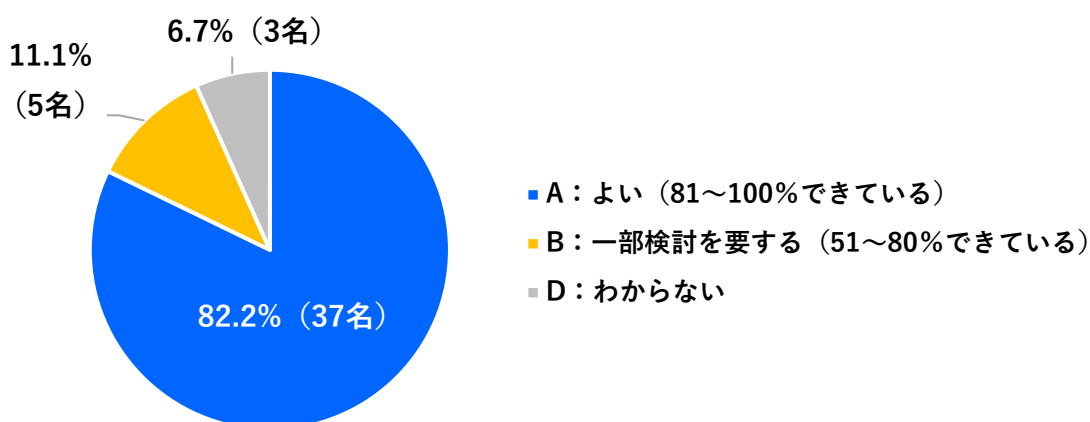
【理由2】気持ちを落ち着かせる場所、環境作りが必要だと思います。

【理由3】カードなど園にあるものを、もっと活用するべきだと思う。

【理由4】私ではないが、たまたまクラスをみていたのですが、子供の荷物を廊下に出して帰ってくださいと子供に言っていたのですが、その行動は良いのか？と疑問に思いました。

【理由5】配慮の必要な子への対応で、他の子ども達を待たせる場面があるため、待たせる時間を少しでも減らしていきたい。

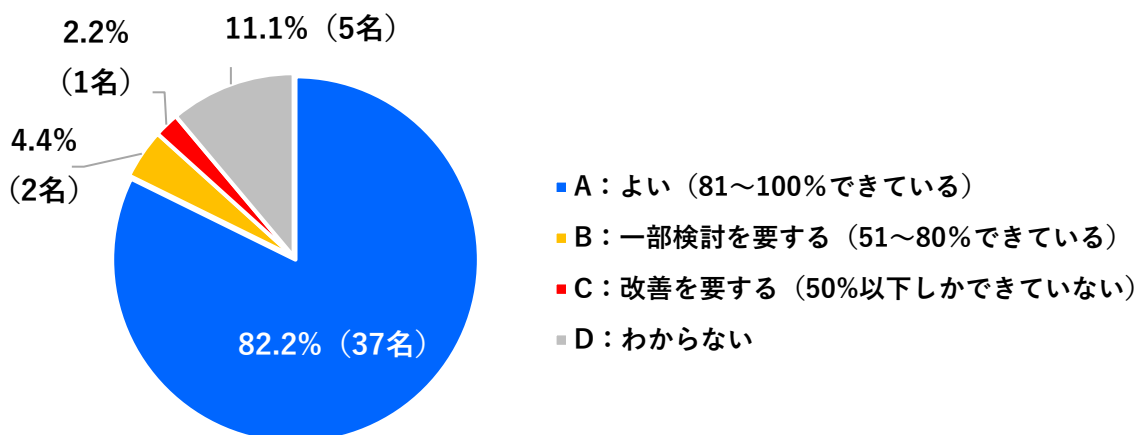
【19】それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境づくりや、保育の内容や方法に配慮している。



【理由1】どの時間も同じことをやっているように思う。

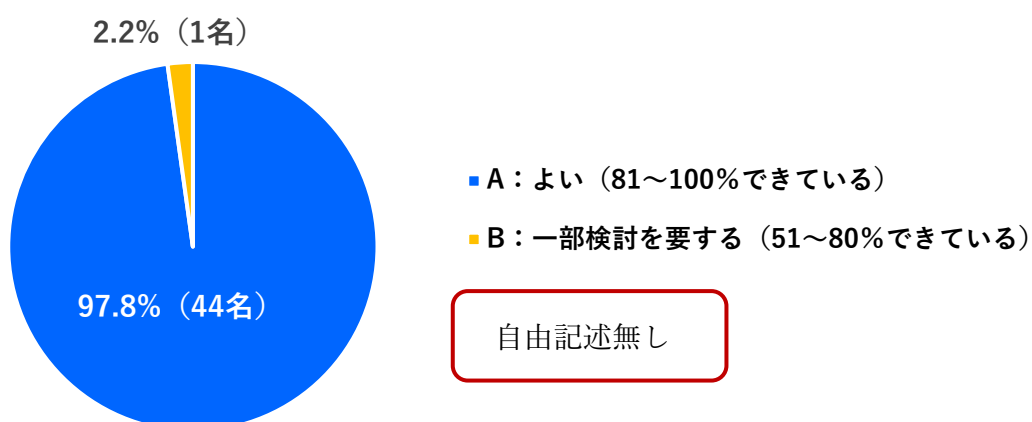
【理由2】居残りや早出の子に二つの保育道具は、必要ではないように思う。違う遊びが沢山ある方がいいと思う。

【20】小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。

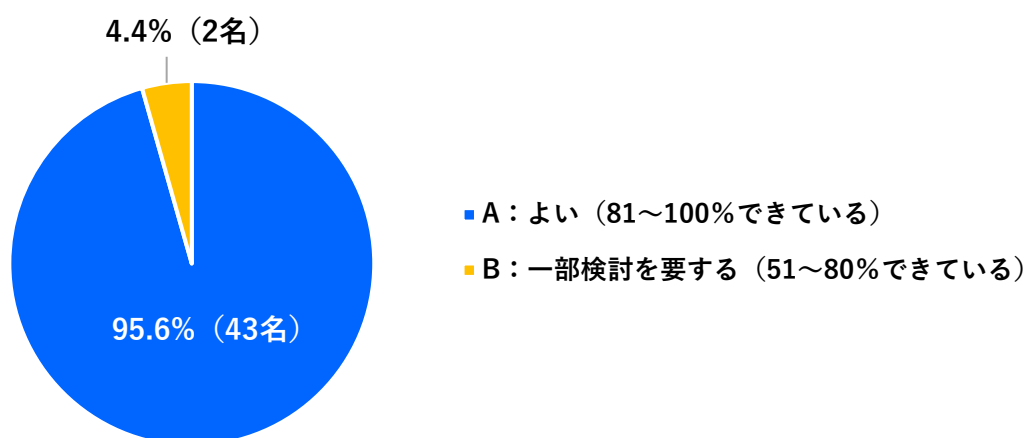


【理由1】言葉を文にする事や、絵を具体化することなど、個性を大事にしながら力をつける必要があると思う。(C回答者)

【21】健康診断・歯科健診等の結果は保護者へ伝え、子どもの健康管理を適切に行い、保育に反映している。

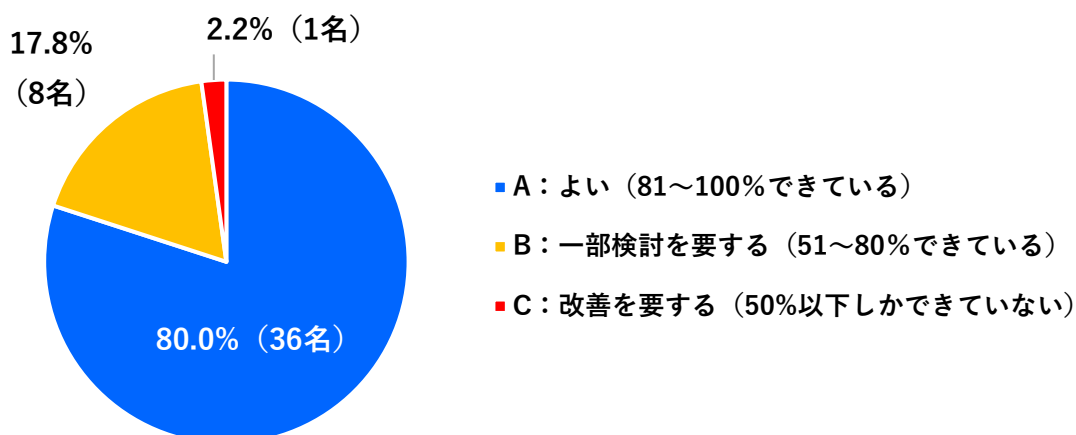


【22】アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。



【理由1】食物アレルギーを持った子どもがランチルームにて食事を行っているが、除去食ではないときに一緒に食べているは、別室で食べている意味がないと思う。

【23】子どもの年齢に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で食事を楽しむことができる工夫をしている。



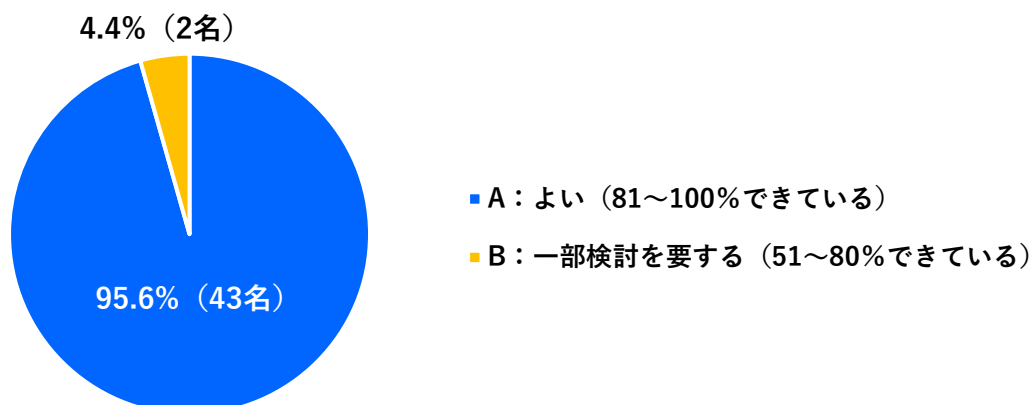
【理由1】 掃除や午睡準備、アレルギー食と職員が分散される時間なので適切な介助はしきれていないと思う。(B回答者)

【理由2】 未満児クラスでは、子どもと職員と一緒に食事をする事が難しい場合があるため、可能な限り別の時間に食事を取り、子ども達の食事の介助に専念できるようにしたい。(B回答者)

【理由3】 人数の問題もあるがテーブルに保育士がつき食事指導が必要だと思う。(C回答者)

【理由4】 離乳食では、隣の空間で活動を行っていたり音楽が流れていたり、食事に集中できない。(B回答者)

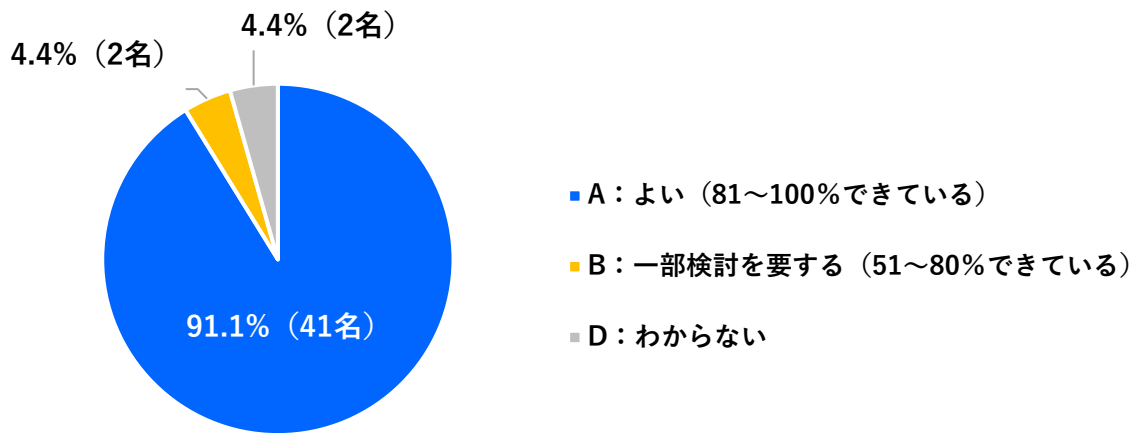
【24】旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。



【理由1】 おやつや食材がパターン認識しているように感じる。

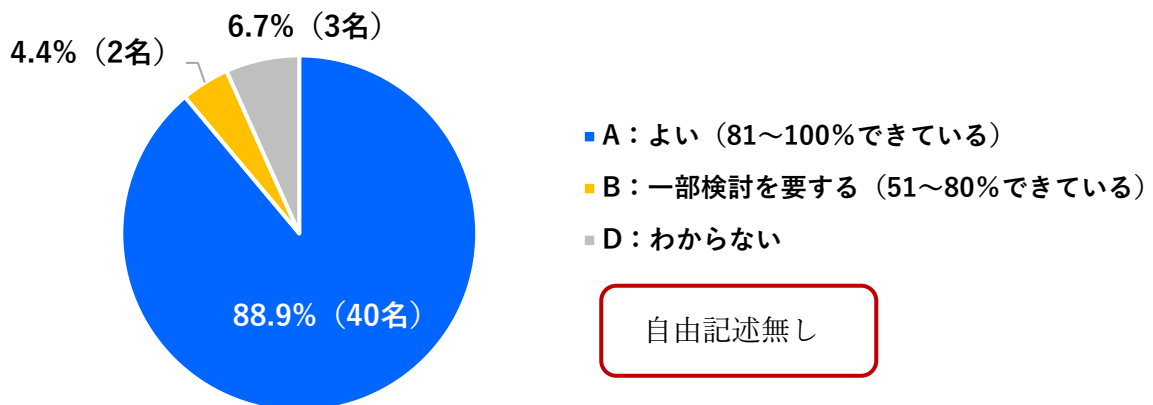
【理由2】 味付け、食材がいつも同じ。毎日きゅうりを食べているように感じる。

【25】子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。



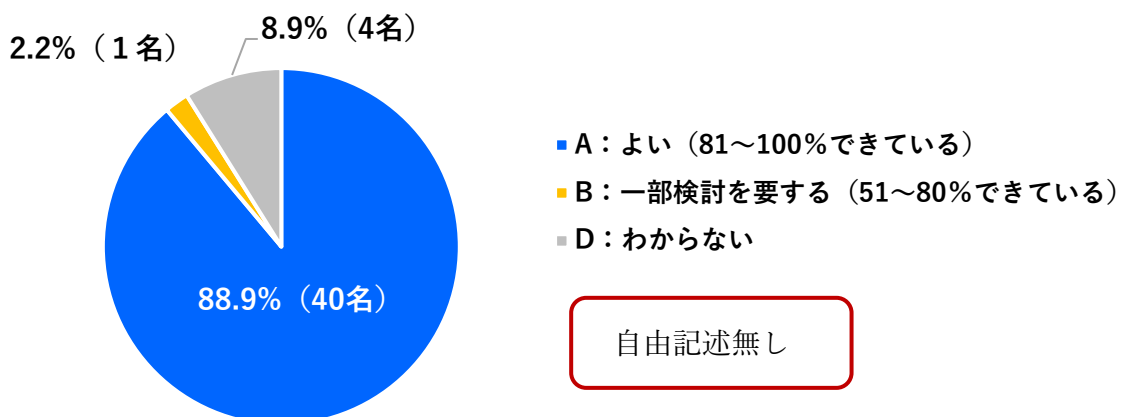
【理由1】勤務時間もあるが特定の保護者とだけ話してしまう傾向にある。

【26】保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。



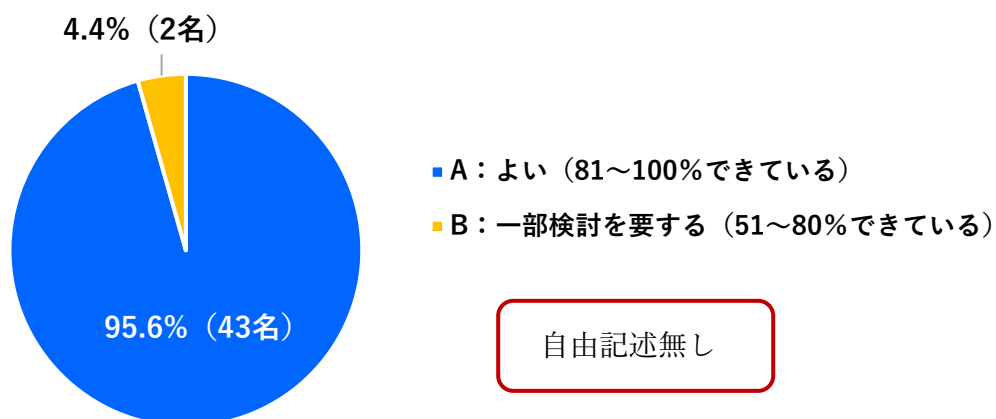
自由記述無し

【27】家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。

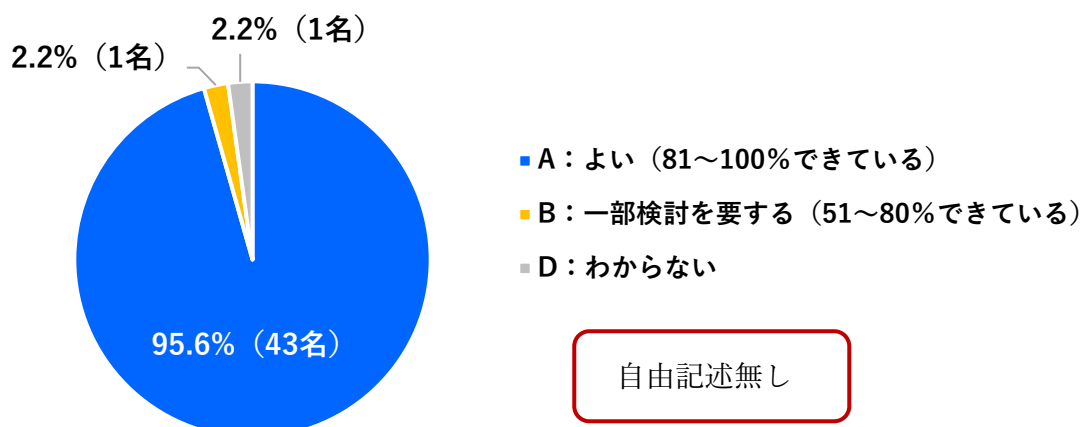


自由記述無し

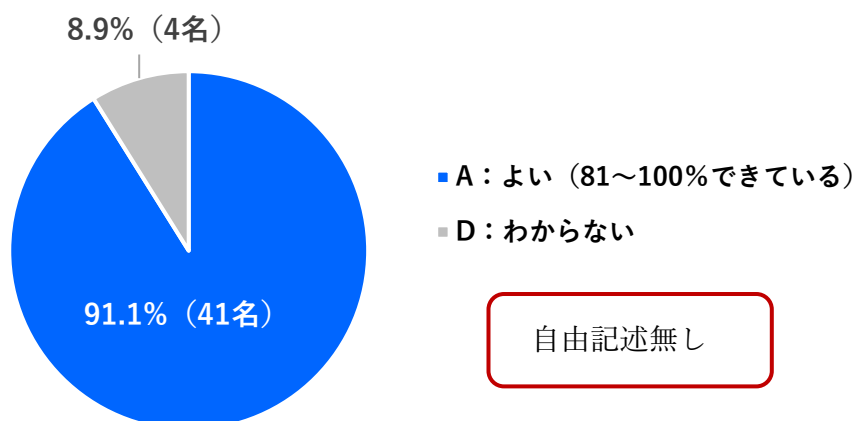
【28】職員一人ひとりが、園の年間目標に対して目標を立てて、主体的に取り組み、保育実践の振り返り（自己評価）を行い、専門性の向上に努めている。



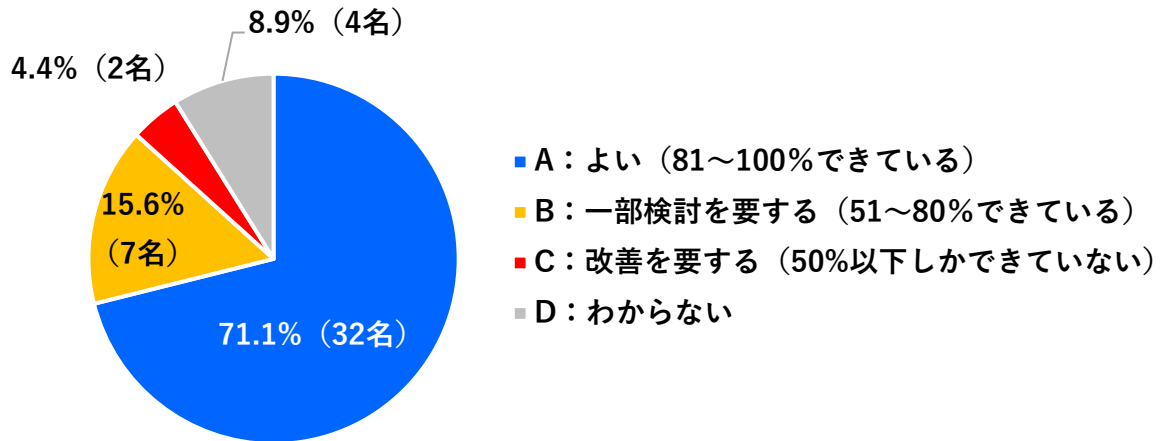
【29】職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。



【30】運営の透明性を確保するため、基本理念や保育方針、苦情処理の仕組み、事業計画等の情報がホームページ等で公開されている。

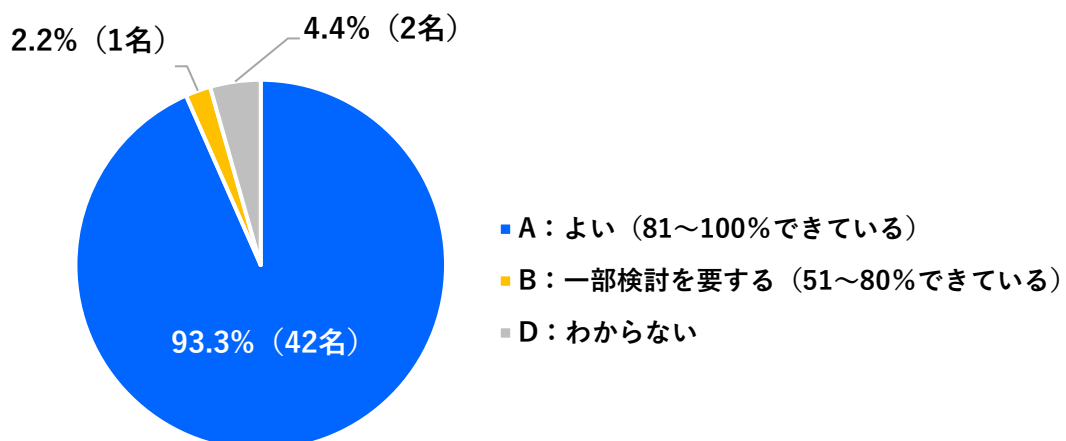


【3 1】職員の家庭状況や健康面・メンタル面等、それぞれの意向について面談を通して把握し、一人ひとりが働きやすい職場づくりに取り組んでいる。



- 【理由1】職員とのカンファレンスを行う時間の確保が充分ではなかった。(B 回答者)
- 【理由2】クラス内だけでもどういう事が苦手なのか、どういうふうに対処することができるのか公開して欲しい。プライベートな事なので難しいと思うがより良い関係を築く為に。(B 回答者)
- 【理由3】希望休届けの理由は「私用」のみでいいのでは。法事や冠婚葬祭など選択性にすべき。職員にも、プライバシーがある。(B 回答者)

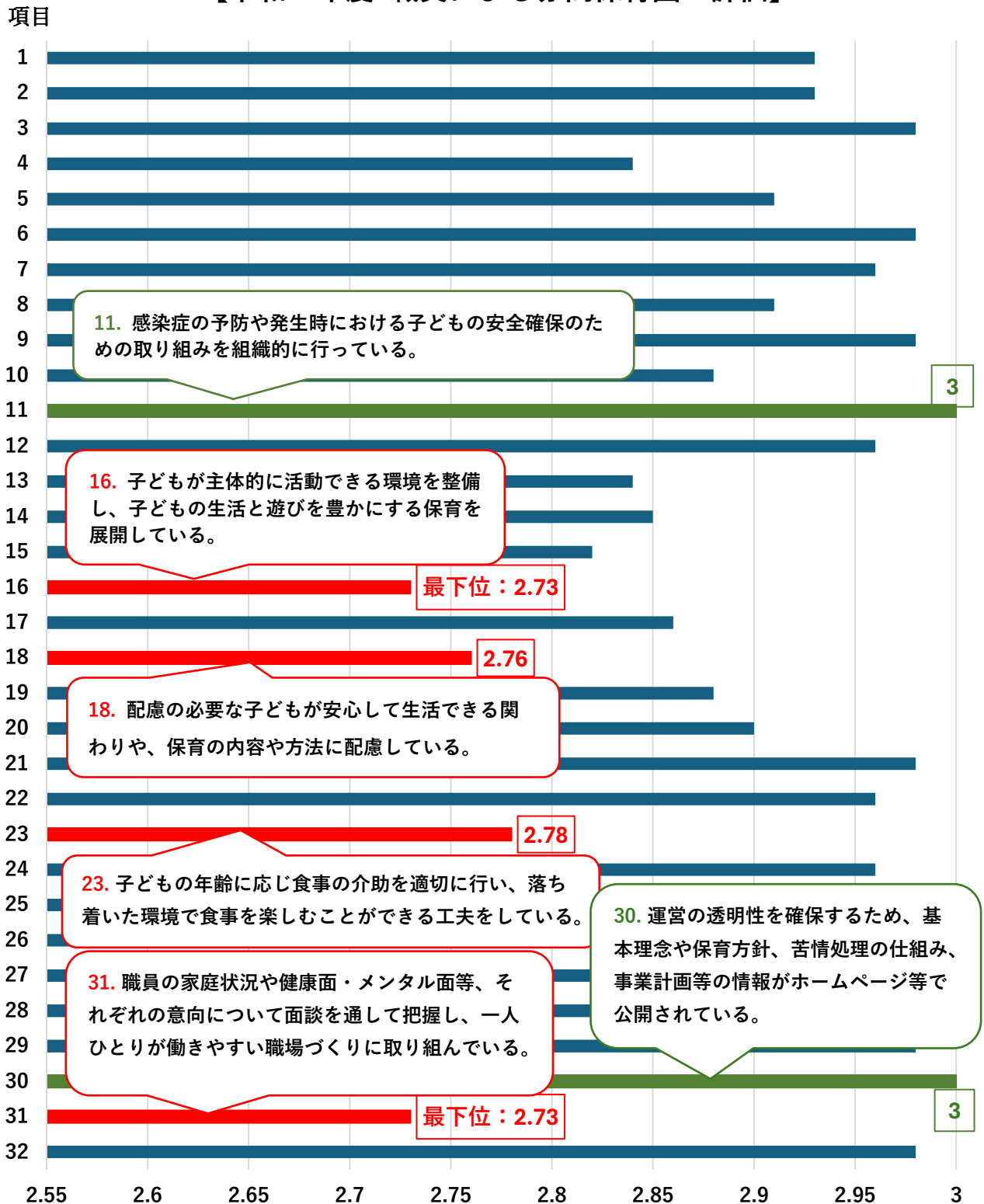
【3 2】保育園において、職員の子どもへの不適切な対応の疑いがある場合は、すぐに対応を行っている。



- 【理由1】声を荒げるのも、子どもを怪我させまいとする意図だと思うと、体制的なものを変えるべきだと感じる。

(参考資料)

【令和6年度 職員による赤間保育園の評価】



3点：A=よい（81%～100%できている）

2点：B=一部検討を要する（51～80%できている）

1点：C=改善を要する（50%以下しかできていない）

※各項目のA～Cの評価を、上記通り3点～1点に置き換えて平均点を算出した。「D=わからない」は平均点算出から除いた。平均点が低いものから4つを赤色で、平均点が3点満点の項目を緑色で示した。